

東大生と考える主権者教育

皆さんご存じだと思いますが、2016年から選挙権年齢が満20歳以上から満18歳以上に引き下げられました。これにともない、主権者に求められる力を養成するための「主権者教育」に注目が集まっています。すでに高校で主権者教育を受けた人も多いのではないのでしょうか。本シンポジウムでは、18歳選挙権にはどのような意義や課題があるのか、主権者教育の目指すものは何か、といったことについて、18歳選挙権を得た最初の世代である皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。主権者教育や若者の政治参加に関して第一線で活躍されている方々をお招きしていますので、奮って御参加ください。

○日時 2018年5月11日(金) 17:00~19:00

○場所 21 KOMCEE West レクチャーホール (東大駒場Iキャンパス)

○次第 1. 開会あいさつ

石田 淳 東京大学教養学部長

2. 基調講演「18歳選挙権の意義と課題」

佐々木 毅 公益財団法人明るい選挙推進協会会長、東京大学元総長

3. パネルディスカッション「主権者教育とは何か」

氏岡 真弓 朝日新聞編集委員

原田 謙介 NPO法人YouthCreate代表

鹿毛 利枝子 東京大学教養学部准教授

村上 祐介 東京大学教育学部准教授

モデレーター：小玉 重夫 東京大学教育学部長

総合司会：内山 融 東京大学教養学部教授

